



[左から]姫路／永世舎 《色絵金彩花鳥図花瓶》明治時代（19世紀後半）個人蔵、出石／永喜山 《白磁梅鶯貼付籠形蓋付壺》明治10～15年（1877～82）頃 個人蔵、神戸絵付／介山 《色絵金彩婦人図輪花皿》明治時代（19世紀後半～20世紀前半）兵庫陶芸美術館 [部分使用]姫路／白鷺 《色絵金彩龍草花蝶文耳付花瓶》明治時代（19世紀後半）姫路市書写の里・美術工芸館、姫路／永世舎 《色絵金彩草花図花瓶（一対）》明治時代（19世紀後半）姫路市書写の里・美術工芸館

開館20周年記念特別展 博覧会の時代 HYOGO 発、明治の輸出陶磁

The Age of the Expo, Meiji period export ceramics from Hyogo

幕末から欧米諸国に広まったジャポニズムの影響により、日本の工芸品は人気を博しました。明治という新たな時代に入り、政府として初めて参加した1873年（明治6）のウィーン万国博覧会（オーストリア）での成功は、さらなる輸出品の製造を後押しし、有田（佐賀）や薩摩（鹿児島）、九谷（石川）、横浜（神奈川）などの地域で豪華絢爛な陶磁器が盛んに作られました。輸出工芸品の図案集『温知図録』が政府によって編纂されるなど、国内外の博覧会への出品や輸出が大いに奨励され、陶磁器製造が殖産興業とも深く結びついた時代です。

兵庫県内の産地では、白磁の細工物に優品の多い出石の盈進社や、鮮やかな色絵製品を焼いた姫路の永世舎、江戸時代後期に創業した珉平焼の流れを汲む淡路の淡陶社などが輸出陶磁を焼いたことで知られています。

また、1868年（慶応4）に開港した神戸港は、横浜港とともに国際貿易港として大きな発展を遂げます。神戸では港に近い利点を活かし、素地を他産地から取り寄せ、絵付けのみを行う製造者や販売店が操業しました。当時の人気を反映した、九谷の赤絵や薩摩の金襷手に倣った陶磁器が焼かれ、これらを総称して神戸絵付と呼んでいます。

本展では、2025年の大阪・関西万博の開催に合わせ、博覧会が盛んに行われた明治期に兵庫県内で作られた輸出陶磁を紹介します。時代の潮流が生んだ華やかな陶磁器をお楽しみください。

【本展の見どころ】

- 1 明治の工芸品は近年その技術の高さからも注目を集めています。出石の白磁や神戸絵付は、まさに超絶技巧。高い技術力に支えられた明治の美を感じられます。
- 2 神戸港の近くで操業した神戸絵付をまとめて紹介する貴重な機会。豪華な色絵金彩の世界を楽しめます。
- 3 『温知図録』に掲載された兵庫県内産地の図案（パネル掲示）を一挙に紹介。海外を志向した華やかな図案とそこから生まれた陶磁器をご覧ください。

【展覧会構成】

I 章 博覧会の時代—明治の輸出陶磁

幕末から海外で一大ムーブメントを巻き起こした日本の美術工芸。ジャポニスムは、欧米の美術に大きな影響を与えました。明治政府も美術工芸品を輸出の重要品目として掲げ、その生産を奨励し、外貨獲得に注力しました。兵庫県内産地の優品に、有田や九谷など明治工芸を盛り立てた主要産地の作品を交え、この時代の様相を紹介します。



出石／出石改良陶磁器株式会社
《色絵燕貼付籠形壺》
1902～1905年(明治35～38)
豊岡市(出石明治館保管)



九谷／谷口
《色絵金彩人物風景図皿(5枚)》
19世紀後半～20世紀前半(明治時代～大正時代)
兵庫陶芸美術館

II 章 温知図録と兵庫県内産地

明治9年(1876)のフィラデルフィア万国博覧会から明治14年(1881)の第2回内国勸業博覧会までのために明治政府が編纂した、輸出品の図案集『温知図録』。兵庫県内産地の製品図案も掲載され、第1輯には、淡路の賀集三平、第4輯には出石の盈進社や、姫路の永世舎の名が確認できます。博覧会に向けて考案された図案(パネル掲示)と対称する作品などによって、この時代を振り返ります。



姫路／永世舎
《色絵金彩鶉朝顔図花瓶》
19世紀後半(明治時代)
兵庫陶芸美術館



淡路／賀集三平
《色絵金彩金魚文蓮花形鉢》
19世紀後半(明治時代前期)
兵庫陶芸美術館

Ⅲ章 HYOGO から世界へ

盈進社やその後の出石改良陶磁器株式会社を擁した出石や、「永世舎」や「白鷺」銘が入る製品が残る姫路、珉平焼の流れを汲む賀集三平や淡陶社が操業した淡路などが兵庫県内の主要産地として挙げられます。このほか有馬や明石、三田などでも輸出陶磁が作られました。『温知図録』や、博覧会の記録をもとに県内産地の諸相を紹介します。



出石／盈進社
《白磁梅花貼付籠形壺(一対)》
1876～85年(明治9～18)
出石神社



姫路／永世舎
《色絵金彩草花図花瓶(一対)》
19世紀後半(明治時代)
姫路市書写の里・美術工芸館

Ⅳ章 もう一つの輸出陶磁—神戸絵付

神戸では、国際貿易港である神戸港に近い利点を生かし、素地を他産地から取り寄せ、絵付けのみを行う製造者や販売店が操業し、当時人気が高かった九谷赤絵や薩摩焼などに倣った絵付製品が焼かれました。特に神戸薩摩と呼ばれる細かい絵付けを施した一群には目を見張るものがあります。未だ謎の多い神戸絵付、その一端を紹介します。



神戸絵付／北
《赤絵紅金彩茶器(6点)》
19世紀後半～20世紀前半(明治時代)
個人蔵



神戸絵付／良山
《色絵金彩羅漢図皿》
19世紀後半～20世紀前半(明治時代)
兵庫陶芸美術館

【展覧会概要】

- ◆展覧会名称：博覧会の時代 HYOGO 発、明治の輸出陶磁
- ◆英文名称：The Age of the Expo, Meiji period export ceramics from Hyogo
- ◆会期：2025年6月7日（土）～8月24日（日）（68日間）
- ◆開館時間：10:00～17:00 ※入館は閉館の30分前まで
- ◆休館日：月曜日
※ただし7月21日（月・祝）、8月11日（月・祝）は開館し、7月22日（火）、8月12日（火）は休館
- ◆観覧料：一般700円（600円）、大学生600円（400円）、高校生以下無料
※（ ）内は、20名以上の団体割引料金です。
※70歳以上の方は半額になります。
※障がいのある方は75%割引、その介助者1名は無料になります。
- ◆会場：兵庫陶芸美術館 展示室1・2・4・5
- ◆出品点数：150件
- ◆主催：兵庫陶芸美術館、丹波新聞社
- ◆助成：公益財団法人 **花王芸術・科学財団**
- ◆後援：兵庫県、兵庫県教育委員会
- ◆協力：丹波立杭陶磁器協同組合

【関連イベント】

- ◆記念講演会「博覧会の時代—ジャポニスムと日本」
講師／佐藤道信氏（東京藝術大学名誉教授）
日時／7月12日（土）13:30～15:00
会場／当館研修棟1階 セミナー室
定員／110名（事前申込制、先着順）
聴講料／無料（ただし展覧会の半券が必要）

- ◆ワークショップ「職人体験！当時のデザインに挑戦」
講師／当館陶芸指導員
日時／7月26日（土）10:00～15:00
会場／エントランス棟1階工房他
定員／20名（事前申込制、先着順）
参加費／有料
応募締切／6月29日（日）16:00

◆当館学芸員による展示解説

日 時／6月14日(土)、7月19日(土)、8月23日(土)

いずれも 11:00 から 1時間程度 (観覧券が必要)

※各イベントに関する詳細は、お問い合わせください。

【お知らせ】

◆同時開催のテーマ展

「丹波焼の世界 season9」

開催中～2026年2月23日(月・祝)

◆次回展覧会

「MINGEI ALIVE—いま、生きている民藝」

9月6日(土)～11月24日(月・振休)

【交通のご案内】

[公共交通機関をご利用の場合]

- ・ JR福知山線「相野駅」下車後(大阪駅から約50分)
駅前からウイング神姫(路線バス)「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き乗車約15分、
「兵庫陶芸美術館」下車

※相野駅発バス時刻 9:33、10:15、13:10、15:45、16:45

土・日・祝は 10:47、11:36、13:41 が増便
(2025年4月現在)

[自動車をご利用の場合]

- ・ 舞鶴若狭自動車道・三田西ICから約15分、
または丹南篠山口ICから約20分
- ・ 中国自動車道・滝野社ICから国道
372号を東へ約30分
- ・ 阪神方面から国道176号を北上し、三田市
四ツ辻信号を左折約15分
- ・ 駐車場無料(敷地内 普通車58台分)、大型可



【本資料に関するお問い合わせ】

兵庫陶芸美術館

広報担当：企画・事業課 丸山勝也（マルヤマカツヤ）

E-mail Katsuya_Maruyama@pref.hyogo.lg.jp

展覧会担当：学芸課 村上ふみ（ムラカミフミ）

E-mail Fumi_Murakami01@pref.hyogo.lg.jp

住所 〒669-2135 兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4

TEL 079-597-3961

FAX 079-597-3967

ホームページ <https://www.mcart.jp>

兵庫陶芸美術館開館 20 周年記念 特別展 **博覧会の時代 HYOGO 発、明治の輸出陶磁**

2025 年 6 月 7 日 (土) ~ 8 月 24 日 (日)

広報画像申込書

送信先 E-mail: togei@pref.hyogo.lg.jp Fax:079-597-3967

兵庫陶芸美術館 企画・事業課 広報担当宛

ご希望の画像番号にチェックを入れ、以下の項目をご記入の上、メールもしくは FAX でお送りください。
※読者プレゼント招待券は、写真を掲載し本展をご紹介いただける場合に限りです(最大 5 組 10 名まで)。
プレゼントの受付・発送などは貴編集部にてお願いいたします。

<p>□1</p>  <p>出石/盈進社 色絵金彩武士図花瓶 明治 9~18 年 (1876~85) 兵庫陶芸美術館</p>	<p>□2</p>  <p>姫路/永世舎 色絵金彩草花図花瓶 (一対) 明治時代 (19 世紀後半) 姫路市書写の里・美術工芸館</p>	<p>□3</p>  <p>神戸絵付/介山 色絵金彩婦人図輪花皿 明治時代 (19 世紀後半~20 世紀前半) 兵庫陶芸美術館</p>
<p>□4</p>  <p>姫路/淡陶社 色絵花鳥図鉢 明治時代~大正時代 (19 世紀後半~20 世紀前半) 兵庫陶芸美術館</p>	<p>□5</p>  <p>出石/永喜山 白磁梅鶯貼付籠形蓋付壺 明治 10~15 年 (1877~82) 頃 個人蔵</p>	<p>□6</p>  <p>姫路/永世舎 色絵金彩花鳥図花瓶 明治時代 (19 世紀後半) 個人蔵</p>

【画像使用に際しての注意事項】

- ◆本展覧会の広報用としての使用に限ります。
- ◆画像の掲載には、各作品のキャプションを明記してください。
- ◆画像の加工 (作品の切り抜き、着色、文字載せ等) はご遠慮ください。
- ◆基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「企画・事業課」までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◆ご掲載媒体、もしくは URL を「企画・事業課」までご送付いただきますようお願いいたします。

貴社名:

媒体名:

所在地: 〒

媒体種別: 新聞・雑誌・フリーペーパー・テレビ

ラジオ・WEB・その他 ()

担当者名:

掲載予定日:

E-mail アドレス:

参考 URL:

TEL:

FAX:

読者プレゼント招待券: 組 名分